

ラークスター(ブルー)

蒔く時期 : 3月~5月 / 9月~11月

収穫時期 : 7月~9月 / 翌年4月~6月

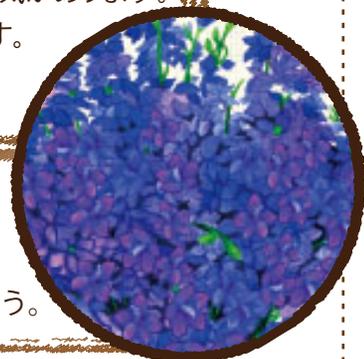
特徴

耐寒性の1年草で色鮮やかな花を密生させます。その花の一つ一つが千鳥を思わせ、花壇、プランター、ポットその全てに貴高い美しさ、さわやかさ、清楚さで人気があります。切ったあとの水あげも良く切り花、アレンジメントでも長く美しく楽しめます。

育て方

【用土】

水はけの良い土を好みます。
また、酸性土では生育が悪いのであらかじめ中和しておくようにしましょう。



【植え付け】

春と秋の高温の日を避け、移植を嫌うので日当たりと水はけの良いところに直蒔きをします。種を蒔いた後は種が隠れる程度の土を被せます。



【水やり】

過湿を嫌いますが、乾かしすぎても株を傷めてしまいます。水やりは土の表面が乾いたらたっぷり与えますが、花や葉に水をかけないように注意しましょう。

【間引き】

株間が15~20cmになるように間引きを続けます。



【追肥】

苗のうちにときどき液肥を与えて育てると、大株に育ちやすいです。花茎が伸びだした頃に液肥を与えると、花穂が充実します。

【その他注意点】

とくに水はけが悪いと病気にかかり、下葉から黄色く変色し、枯れることがありますので注意しましょう。



心理効果

このお花を育てよう(気になる)時は、この姿と色から冷静(クール)平常心を保った状態に感じさせてくれるお花です。形がふわふわあいたいるので、気持ちが軽快になり色が青ですので、血圧を下げる効果があるようです。又、海や空、地球のような身近な存在には青はあるものの、自然界にはあまり存在しない色のお花です。よって、幻想的な効果が期待できます。疲れを取り除きたい、身体を健やかにしたい、安らかな眠りが欲しい時に、又、冷静に自分を見つめ直したい時、心の奥深くを癒したい時にオススメです。

監修: 華道 草月流師範 花セラピスト・インストラクター 中島 弘華(まこと)先生